



機械翻訳による仮訳

2025年10月7日～9日 日本、神戸



2025
celebrating
seventy years

主催スポンサー
KOBE

プログラム

IAPHは創立70周年を迎え、そのルーツである日本と神戸に皆様をお迎えできることを楽しみにしています。

IAPHのルーツである神戸に皆様をお迎えできることを楽しみにしております。

IAPH2025世界港湾会議では、世界貿易を通じて世界平和を、世界港湾を通じて世界貿易を確立するという象徴的な理念に従い、世界の港湾指導者と政策立案者、金融機関、船主、貨物所有者、サービスプロバイダーが再会し、ネットワーキング、知識の共有、討論の場を提供します。



代表者席の確保、参加・協賛に関する詳細は、イベントチームまでお問い合わせください。

ウェブサイト: worldportsconference.com



ports
& harbors

mercatormedia³
magazines events online

連絡先+44 1329 825335

またはEメールwpc@mercatormedia.com

#IAPH2025

10月7日（火）

登録受付開始

08:00 - 09:00

開場時間

09:00 - 09:05



パトリック・フェルホーベン
マネージング・ディレクター
国際港湾協会

歓迎の辞

09:05 - 09:10



イェンス・マイヤー
CEO（最高経営責任者）
ハンブルク港湾局

開会挨拶

09:15 - 09:45

本会議場

激動の時代における繁栄を維持するための海上貿易の再発明

09:45 - 10:30

本会議場

#IAPH2025は、世界的に不透明な状況が続く中、世界の港湾と海上貿易がどのように繁栄していくかを理解することに焦点を当てる。関税の高騰や貿易戦争がどのような影響を及ぼすのか。比較的安定した時代に設定されたエネルギー転換と持続可能性の目標は、まだ現実的なのだろうか？サプライチェーンは長期的な地政学的不安定性に適応できるのか？また、破壊的技術はどのような役割を果たすのだろうか？これらのトピックについて、業界のリーダーたちがグローバルな視点で語りま



オン・キム・ボン
グループCEO、
PSAインターナショナル



イェンス・エスケルンド
大中華圏および北東アジア地域代表
マースク



サクラクマ
執行役員/マネージング・ディレクター
商船三井(アジア・オセアニア)社長

コーヒー＆ネットワーキング

10:30 - 11:00

気候レジリエンス投資から具体的な成果を得るために

11:00 - 11:50

本会議場

港湾における気候レジリエンスには、大規模な投資が必要であり、現在港湾を保護するための適応策と、将来に向けて港湾の長期的な排出削減と気候変動緩和策を提供することが含まれる。

本プレナリーでは、何が必要なのか、どのレベルの投資が合理的なのか、どのような資金調達オプションが実現可能なのかについて、深く掘り下げる。



ローナ・マクドナルド
政策・IMOリエゾンオフィサー
国際協会
港湾



ジェイソン・スプロット
港湾・空港担当エグゼクティブ・ディレクター
国家運輸調査
組織 (NTRO)

IMOのネット・ゼロ・フレームワークと港湾の役割

11:00 - 11:50

ブレイクアウト・ルーム1

低炭素燃料やゼロ炭素燃料が海運の「未来の燃料」となる明確な最有力候補に浮上しない中、大半の港湾は顧客のニーズに対応するため、多燃料によるゼロ炭素バンカリングに投資する必要がある。港湾はこの新しいバンカリング環境にどのように備え、インフラやパートナーシップの面でどのような投資が必要なのか？



エドヴァルド・モリター
国際広報・持続可能性部長
ヨーテボリ港湾局



**ミハエル・フォー
ランド**、ベルゲン
港湾局長



ジェームズ・フォースダイク
、ロイド レジスター海事脱炭
素化ハブ マネージング・ディ
レクター



サラ・オジェ
海事環境・持続可能性ディレクター シアトル港湾局長

震災後のゼロ地点からの教訓-神戸の成功した復興

11:50 - 12:00

本会議場

30年前、神戸の人々は、何千人もの命を奪い、インフラ、通信、交通が完全に崩壊した地震で目を覚ました。しかし、その後の神戸の都市と貿易の復興は目覚ましいものであった。この復興の成功要因は何だったのか、そして他の港湾都市は神戸の経験から何を学べるのか。

都市のウォーターフロントを再構築し、港湾都市を変革する-神戸の事例から

11:50 - 12:00

ブレイクアウト・ルーム1

歴史的な年となるであろうこの年、IMO加盟国は、産業の脱炭素化に向けた技術的・経済的措置の両方について交渉を行っている。主要な合意が予見される中、本セッションでは、経済対策のための資金をどのように集めることができるのか、また、港湾は恩恵を受けるのかという大きな問いを投げかける。

港湾コミュニティへの投資を超えて-港湾を都市に近づけるステークホルダーとは？

12:00 - 12:50

ブレイクアウト・ルーム1

港湾当局は、土地開発や持続可能性といった競合する利害関係により、他のパートナーを探さざるを得なくなっている。どの利害関係者が違いを生むのか？ 港湾ガバナンスにおいて、自治体の利害関係者はより大きな発言権を持つべきか？

ソン・サングン

社長兼CEO
釜山港湾局



マー・チャオ

社長
バレンシア港



コストのかかるワンクリックのジレンマ：港湾のサイバー回復力への投資はどの程度で十分か？

12:00 - 12:50

本会議場

今日の港湾にとって、サイバー犯罪は断トツで最大のリスクである。重要インフラはかつてないほど脆弱であり、新技術や自動化は効率を劇的に改善する一方で、依存性と脆弱性を増大させる。サイバー耐性のための投資はどの程度で十分なのか？



クロエ・ローランド

シニアマネージャーデータコラボレーショ
ン、リスク&レジリエンス
国際港湾協会



ロルフ・シューマ

ン、共同CEO
シュワルツ・デジ
ット



ワルサマ・ギレ

CEO、
ジブチ港湾コミュニティシステム



チン・ベン・オン

シンガポール海事港湾庁 最高情報セキュリティ責
任者

昼食

12:50 - 14:10

貿易政策の不確実性：貿易障壁や関税の開始・停止に港湾はどう適応できるか？

14:10 - 14:30

本会議場

本プレナリーでは、各国および貿易圏間の最近の緊張や、激動の上半期における貿易政策をめぐる不確実性を踏まえ、港湾がどのような影響を受けているのか、また、貨物の流れの恒常的な不安定性に港湾はどのように対応することができるのか、さらに今後数カ月、数年の間に何が予想されるのかに焦点を当てる。

ジェームス・ベーカー

ロイズリスト社コンテ
ナ担当編集者



新しい世界港湾改革ツールキット - 政策立案者にどのような支援を提供できるか？

14:30- 15:20

本会議場

世界銀行の「港湾改革ツールキット」は、政策立案者や実務家が、開発途上国における港湾ガバナンスの持続可能で熟慮された改革を実施する際に、効果的な意思決定支援を提供するものである。

を提供する。本会議で発表される新しいツールキットは、エネルギー転換とデジタル化に関するガイダンスを含む新しいモジュールと、ガバナンスと港湾改革に関する様々な章のアップデートが含まれる。ファイヤーサイドチャットでは、ツールキットの著者である世界銀行のシニア代表にインタビューし、これらの新しい強化点について説明する。



リチャード・バラントイン
チーフ・エグゼクティブ
英国港湾協会



ドミニク・エングラート
シニアエコノミスト
世界銀行

コーヒー＆ネットワーキング

15:20 - 15:50

世界貿易を通じて世界平和を、世界港湾を通じて世界貿易を - IAPH70年の歴史が港湾と海運を支援する

水晶玉

15:30 - 16:50

本会議場

IAPHが設立70周年を迎えるにあたり、このセッションでは、神戸市におけるIAPHのルーツを振り返るとともに、前例のない国際的・産業的変化の70年間から何を学び、港湾、海運、そしてより広い海事クラスターが不確実な未来に備えることができるかを検証する。



パトリック・ヴァーホーヴェン
常務理事
国際協会
国際港湾協会



古市雅彦
事務局長
国際港湾協会
国際港湾協会



マリカ・カルファス
最高経営責任者
NSW港湾



マリウム・モハメド・キデレ
プリンシパル・ポート・セキュリティ・オフィサー
ケニア港湾局

会議終了

16:50 - 17:00

ウェルカム・レセプション - 後楽園

18:00 - 20:00

相楽園

神戸で唯一の伝統的な日本庭園である相楽園で開催される歓迎レセプションにご参加ください。20世紀初頭に完成したこの庭園は、小寺謙吉前神戸市長の父によって造られた。1941年3月に神戸市の所有となり、同年11月に相楽園と改称された。

壮大なクスノキ、ソテツ、庭園に飾られた大きな灯籠の中、温かい歓迎の雰囲気の中、イブニング・ドリンク・レセプションとプロフェッショナル仲間とのネットワークをお楽しみください。

ホテルオークラから相楽園まではバスで移動します。

10月8日（水）

開場

09:00 - 09:05

本会議場



パトリック・バーホーベン
マネージング・ディレクター
国際港湾協会

基調講演

09:05 - 09:15

本会議場

揺れ動く地政学 - 行間を読む

09:15 - 09:30

本会議場

2025年の最初の数ヶ月は、数十年にわたる多国間関係を大混乱に陥れた。ヨーロッパ、中東、欧州、中東、アフリカでの紛争に明確な終止符が打たれず、アジアやその他の地域でも緊張が高まる中、港湾と海事セクターはどのように「行間を読み」、将来のサプライチェーンの混乱と再編成を予測することができるのか。と再編を予測することができるのだろうか？



パトリック・ヴァーホーヴェン
マネージング・ディレクター
国際港湾協会

現在の港湾投資環境 - 嵐の雲は銀の裏地？

09:30 - 10:30

本会議場

港湾および港湾インフラへの投資環境は、地理的条件、投資ソース、コンセッション・モデルの変容、入札を行う事業者によって異なり、ますます断片化している。今日、世界の投資環境はどのようになっているのだろうか。



デビッド・ウィグナル
マネージング・ディレクター
デイヴィッド・ウィグナル・アソシエーツ



アニック・デ・リダー
フランドル地方モビリティ・公共事業大臣
フランダース政府港湾・ス
ポーツ担当大臣



ジュリー・ガスコン
社長兼CEO
モントリオール港



ヴィニシウス・パテル
港湾管理局長
ポルト・ド・アス

コーヒー＆ネットワーキング

10:30 - 11:00

エネルギー・ハブ：投資のリスク回避は可能か？

11:00 - 11:50

ブレイクアウト・ルーム1

技術は利用可能である。産業界の需要と船舶の燃料需要との間に「臨界点」が生じる可能性は明らかである。投資ニーズを確実に上回り、重要なプロジェクトが最終的に開始できるようにするために、リスク回避はどのようにしてこれらの要素を転換点以上に押し上げることができるのだろうか？



リコ・サルグマン
輸送スペシャリスト
世界銀行



リン・ルー
CEO
海洋脱炭素化グローバルセンター

港湾融資とリスク：港湾が必要とするもの、銀行が求めるもの

11:00 - 11:50

本会議場

このセッションの目的はただひとつ、「最終投資決定」を勝ち取ることである。港湾は融資を得るためにどのような説得力のある議論を展開できるのか、また、投資機関は投資関係者を納得させるために実際に何が必要なのか。



ジェイミー・シンプソン
経済コンサルタント、
トリプルラインコンサルティング



イエシム・エルハン・カヤラル
チーフエコノミスト室アドバイザー
アジア開発銀行



マーカス・ジョン
マネージング・ディレクター
トーマス・ミラー・オーストラレーシア



マルコ・山口雅英
運輸・ロジスティクス部門マネージャー
アフリカ開発銀行グループ

ドライバルクおよびウェットバルク貨物の海上輸送における革新 - 港湾はどのよ うに適応すべきか？

11:50 - 12:00

本会議場

世界銀行コンテナ港湾パフォーマンス指数（CPPI）-2025年報告書

11:50 - 12:00

ブレイクアウト・ルーム1

本セッションでは、S&Pグローバルと世界銀行が発表した世界のコンテナ港の2025年CPPIレポートのハイライトを紹介し、再構築された過去のデータとの比較も行う。



ヤン・ホフマン

世界銀行 海運・港湾部門グローバル・リード

クルーズ関係者の壁を取り払い、寄港地の経済効果を最大化するために

12:00 - 12:50

ブレイクアウト・ルーム1

世界のクルーズ船隊は拡張の一途をたどっており、増加の一途をたどる海上観光需要に対応するため、新たなトン数の船舶の乗客定員は増加の一途をたどっている。このようなクルーズ船の寄港を受け入れる地域社会が、経済的・社会的利益を最大限に享受できるようにするために、港湾当局、都市・地方政府、機関はどのようなことができるのだろうか？



バド・ダー

社長兼CEO

国際クルーズ客船協会



ステファニー・ジョーンズ・ステビンズ

海事部門マネージング・ディレクター

シアトル港

よりスマートなコンセッションによる港湾用地の価値最大化

12:00 - 12:50

本会議場

コンセッションナーのニーズは常に変化している。国、地方公共団体、自治体はますます、港湾に対し、そのポートフォリオに含まれる土地の1平方メートルあたりの収益を最大化するよう求めるようになっていく。このセッションは、このような状況を念頭に置きながら、今日のスマートな港湾コンセッションとは何かを問うものである。



マイク・マンディ

エディター

港湾戦略



ルース・バノミョン

委員

タイ港湾局



プエルト・バルパライソ開発マネ

ージャー、エンリケ・ピライノ

昼食

12:50 - 14:10

港湾産業クラスターを脱炭素化するための利益の動きを探る：循環型経済は実際に本当に機能するのか？

14:10 - 14:30

ブレイクアウト・ルーム1

各港湾は、真の循環型経済活動への旅路において、それぞれ異なる段階にある。しかし、港湾が脱炭素化に向けて既存のインフラを利用するにしても、持続可能なインフラを構築するにしても、その段階は異なる。

投資家が満足するほど早く投資回収ができるのだろうか？このセッションでは、潜在的なアプローチを探る。



ジャッキー・スピテリ
マネージング・ディレクター
SESG



ブーデウェイン・シーモンズ
CEO兼COO
ロッテルダム港

汝の隣人を愛せよ：地域港湾の協力、提携、合併の予測

14:30 - 15:20

本会議場

あなたの港の隣人は、熾烈なライバルなのか、それとも次のビジネス・パートナーなのか？長い間、港湾当局間の提携や合併は例外的なものであったが、参加者が学ぶように、現在では、財政的利益と競争上の利益の両方をもたらした提携、さらには合併の具体例がある。

をもたらした具体的な例がある。



ジャック・ヴァンダミレン
最高経営責任者
アントワープ・ブルージュ港



篠原正治
執行役員
神戸・大阪国際港湾株式会社

コーヒー＆ネットワーキング

15:20 - 15:50

顧客から見たグローバル海事サプライチェーンにおける港湾の未来

15:50 - 16:50

本会議場

"耳を澄ませば、顧客があなたのビジネスを説明してくれる"ポルシェのペーター・シュッツ元CEOのこの格言は、港湾局の顧客が近年完全に変貌を遂げていることを考えると、これほど適切なものはない。ターミナル・オペレーターはサプライ・チェーン・サービス・プロバイダーとなった。船主は今や、船隊に勝るとも劣らないオフショアおよびロジスティクス資産を所有している。BCOは、大きな購買力を持つグローバル・コングロマリットに成長した。こうした業界関係者が夜も眠れないのはなぜか。港湾セクターとともに発展していく未来をどう見ているのだろうか？



クレス・リンドグレン
グローバル・カテゴリー・マネージャー
物流・輸送
イケア



ジョナサン・ゴールドナー
アジア・中東地域チーフ・エグゼクティブ
APMターミナル

会議終了

16:50 - 17:00

IAPHサステナビリティ・アワード & ガラディナー - 神戸ポートピアホテル

18:45 - 22:30

ポートピアホテル

IAPH2025 のハイライトはガラディナーとサステナビリティ・アワードの授賞式です。世界各国から集まった最高品質の港湾サステナビリティ・プロジェクトを称える。

サステナビリティ・アワードは、世界港湾会議において必ず出席しなければならないイベントです。18:45からウェルカム・ドリンク・レセプション、19:30から着席形式の日本式ディナー、そして夜遅くに授賞式が始まる。

ホテルオークラからポートピアホテルまではバスで送迎します。

10月9日（木）

#IAPH2025年次総会

08:30 - 10:30

年次総会では、IAPH 会員に今年度の総括を行い、2026 年度の優先課題について議論していただきます。今年の年次総会では、今夏に行われる新理事会の正式な就任式も行われる。

- 08:30 ウェルカムコーヒー
- 09:00 総会開始

災害復旧センター

11:00 - 13:30

2025年は阪神・淡路大震災から30年の節目の年である。10万4,000棟を超える建物が被災した神戸市と神戸港は、港湾地域と街全体を復旧・再生させた。参加者は、震災復興センターを訪問し、神戸市がどのように復興したかを含め、震災の影響を完全に理解する機会を得る。震災から3日以内に

震災から3日以内に、神戸港は避難を支援し、人と物資の移動を支援するため、臨時航路を開設した。

一般港湾見学

11:00 - 13:30

神戸港を船で見学。六甲山麓に位置する神戸港は、1868年の開港以来、有数の商業港として発展してきた。また、2003年には国際港湾経済港湾に指定されました。

神戸液化水素受入ターミナル "Hy touch Kobe"

11:00 - 13:30

HySTRAは、兵庫県の神戸空港島に、-253℃の液化水素をそのまま移送できるローディングアーム、液化水素貯蔵タンクなどを備えた受入ターミナルを建設し、技術実証試験を行っている。

-253℃の液化水素をそのまま移送できるローディングアーム、液化水素貯蔵タンクなどを備えた受入ターミナルを建設し、技術実証試験を行っている。当日は、Hy touch Kobeの概要説明を受け、ローディングアームを含むターミナルを港側から見学するボートツアーに参加する。

国連貿易開発機関TrainForTrade主催による日本語でのポートエンデバー

・ゲームプレイ

11:00 - 12:30

国連貿易開発のマーク・アサフTrainForTradeチーフ、ゴンサロ・アヤラ知識管理オフィサー、そしてIAPHの同僚が共同司会を務め、日本の港湾と参加者は国連賞にもノミネートされたPort Endeavorゲームを日本語でプレイできるまたとない機会を得る。IAPH、UNCTAD TrainForTrade、APECが共同開発したPort Endeavorは、IAPH World Ports Sustainabilityの実際のプロジェクトに基づき、持続可能性と海事産業における国連の持続可能な開発目標（SDGs）の適用について港湾専門家を教育するためのトレーニングツールです。

プログラムこれは、さまざまな港湾の役割を担うプレイヤーが、持続可能な活動に関する意思決定を行い、限られた予算内で課題に直面しながら、対応しなければならない実体験に基づく外部イベントに対応する協働ゲームです。すでに世界中で1,600人以上の港湾関係者がプレイしているこのゲームは、#IAPH2025で日本語版が初公開される。



ゴンサロ・アヤラ
ナレッジ・マネジメント・オフィサー、
国連貿易開発会議



ローナ・マクドナルド
政策・IMOリエゾンオフィサー
国際港湾協会



マーク・アサフ
国連貿易開発会議（UNCTAD）人材開発課長

インフォーマル・ドリンク・イブニング - 森の中のトゥース・トゥース・フィッシュ

18:00 - 20:00

トゥース・トゥース・フィッシュ・イン・ザ・フォレスト

ホテルオークラから徒歩数分の場所にある「Tooth Tooth」レストラン「Fish in the Forest」にて、神戸のランドマーク的存在である「Tooth Tooth」グループによるカジュアルなドリンク・レセプションをお楽しみください。1995年の阪神・淡路大震災後に創業し、神戸を代表する企業として成長し続けているTOOTH TOOTHグループ。